



実川たかし県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

実施プランの策定へ

まちづくりの課題解決に向け!



9月県議会で壇上に立つ実川県議

実施プランの策定
や芝山町でも、
あり、横芝光町
あると認識して
しつかりと見極め
ることが重要で
二ノズや効果を
進めるに際し、
機能強化に合わ
づくりの検討を
県では、地域
づくりの検討を
進めるに際し、
機能強化に合わ
せた地域ごとの
二ノズや効果を
しつかりと見極め
ることが重要で
あると認識して
あり、横芝光町
や芝山町でも、
実施プランの策定

このたび、栗山川上流域
に新たに成田空港第3滑走
路が建設されることになり、
その雨水排水が支流の高谷
川を経て本川の栗山川に流
入することから、さらなる
浸水被害の発生が懸念され
るところです。
そこで伺います。第3滑

栗山川の改修については、
現在、河口から飯土井橋ま
での17.2キロ区間で事業
を進めており、銚子連絡道
路地点までの8.1キロ区
間において、堤防整備や橋
脚等の改築が完了していま
す。
県としては、引き続き必

栗山川改修につ
いては、改修を推
進していくとの前向きな答
弁をいただきましたが、第
3滑走路の雨水が高谷川に
流入することとなり、芝山
町住民は、高谷川が氾濫
するのではないかと大変心
配しています。しつかりと
対応していただきたい。
いずれは高谷川の改修が
必要になると考えますが、
その受け皿となる栗山川の
改修を、まずは早期に完成
するよう要望します。

実川議員 先の四者協議
会では、空港周辺の地域づ
くりについての基本的な内容
や方向性をまとめた基本プ
ランが決定され、具体的な
施策を盛り込んだ「(仮称)
実施プラン」の策定に向け、
関係者で取り組んでいると

森田知事 「(仮称)実施
プラン」の策定に向けては、
県や地元市町、国、空港会社
で、地域づくりの検討を行う
実務者会議を、今年度3回
実施し、地域活性化策や課
題を含めた現状
の確認や今後の
方向性について検
討を行ってきたと
ころです。
県では、地域
づくりの検討を
進めるに際し、
機能強化に合わ
せた地域ごとの
二ノズや効果を
しつかりと見極め
ることが重要で
あると認識して
あり、横芝光町
や芝山町でも、
実施プランの策定

栗山川は、利
根川を水源とした農業用水
である両総用水、あるいは
都市用水である房総道水路
として、利水上、大変重要
な役割を果たしています。一
方、治水面では、過去の集
中豪雨及び台風被害で、栗
山川中流域において、浸水
被害が発生していることか
ら、県において改修工事が
進められているところです。
このたび、栗山川上流域
に新たに成田空港第3滑走
路が建設されることになり、
その雨水排水が支流の高谷
川を経て本川の栗山川に流
入することから、さらなる
浸水被害の発生が懸念され
るところです。
そこで伺います。第3滑

栗山川改修につ
いては、改修を推
進していくとの前向きな答
弁をいただきましたが、第
3滑走路の雨水が高谷川に
流入することとなり、芝山
町住民は、高谷川が氾濫
するのではないかと大変心
配しています。しつかりと
対応していただきたい。
いずれは高谷川の改修が
必要になると考えますが、
その受け皿となる栗山川の
改修を、まずは早期に完成
するよう要望します。

栗山川改修につ
いては、改修を推
進していくとの前向きな答
弁をいただきましたが、第
3滑走路の雨水が高谷川に
流入することとなり、芝山
町住民は、高谷川が氾濫
するのではないかと大変心
配しています。しつかりと
対応していただきたい。
いずれは高谷川の改修が
必要になると考えますが、
その受け皿となる栗山川の
改修を、まずは早期に完成
するよう要望します。

栗山川改修につ
いては、改修を推
進していくとの前向きな答
弁をいただきましたが、第
3滑走路の雨水が高谷川に
流入することとなり、芝山
町住民は、高谷川が氾濫
するのではないかと大変心
配しています。しつかりと
対応していただきたい。
いずれは高谷川の改修が
必要になると考えますが、
その受け皿となる栗山川の
改修を、まずは早期に完成
するよう要望します。

9月県議会一般質問に登壇

山武郡選挙区選出の
自民党、実川隆(じつかわ
わたかし)県議は、9月
定例県議会でも一般質問
に登壇し、成田空港の第
3滑走路建設に伴う地
域づくりなど、地元山武
郡の抱える諸課題を取り
上げ、森田知事ら県執行
部へ地域振興策を要望し
ました。この中で、森田
知事は「空港周辺地域へ
の企業立地二ノズを把握

今後、どのように取り組ん
でいくのか。
森田知事 「(仮称)実施
プラン」の策定に向けては、
県や地元市町、国、空港会社
で、地域づくりの検討を行う
実務者会議を、今年度3回
実施し、地域活性化策や課
題を含めた現状
の確認や今後の
方向性について検
討を行ってきたと
ころです。
県では、地域
づくりの検討を
進めるに際し、
機能強化に合わ
せた地域ごとの
二ノズや効果を
しつかりと見極め
ることが重要で
あると認識して
あり、横芝光町
や芝山町でも、
実施プランの策定

栗山川は、利
根川を水源とした農業用水
である両総用水、あるいは
都市用水である房総道水路
として、利水上、大変重要
な役割を果たしています。一
方、治水面では、過去の集
中豪雨及び台風被害で、栗
山川中流域において、浸水
被害が発生していることか
ら、県において改修工事が
進められているところです。
このたび、栗山川上流域
に新たに成田空港第3滑走
路が建設されることになり、
その雨水排水が支流の高谷
川を経て本川の栗山川に流
入することから、さらなる
浸水被害の発生が懸念され
るところです。
そこで伺います。第3滑

栗山川改修につ
いては、改修を推
進していくとの前向きな答
弁をいただきましたが、第
3滑走路の雨水が高谷川に
流入することとなり、芝山
町住民は、高谷川が氾濫
するのではないかと大変心
配しています。しつかりと
対応していただきたい。
いずれは高谷川の改修が
必要になると考えますが、
その受け皿となる栗山川の
改修を、まずは早期に完成
するよう要望します。

栗山川改修につ
いては、改修を推
進していくとの前向きな答
弁をいただきましたが、第
3滑走路の雨水が高谷川に
流入することとなり、芝山
町住民は、高谷川が氾濫
するのではないかと大変心
配しています。しつかりと
対応していただきたい。
いずれは高谷川の改修が
必要になると考えますが、
その受け皿となる栗山川の
改修を、まずは早期に完成
するよう要望します。

空港周辺 企業立地の二ノズ調査

山武郡や県政のご相談、ご要望をお聞かせください
実川たかし 県議事務所
〒289-1732 山武郡横芝光町横芝515
TEL.0479-82-2688 FAX.0479-82-2799

企業立地に新整備手法導入へ

新たな産業用地確保

実川議員 「基本プラン」でも、空港周辺地域への企業誘致に向け、新たな産業用地の確保のあり方について、関係機関と連携協力しながら検討を進めていくことが示されています。

企業立地の受け皿となる新たな産業用地の確保について、今後、県はどのような取り組みでいくのか。

商工労働部長 道路網の充実や成田空港の機能強化により、本県の立地優位性が飛躍的に向上する中、産業用地の確保は、本県経済の活性化を図る上で、大変重要と考えています。

一方、現在、高い企業立地ニーズが見込まれる一団の公的未利用地がなく、茂原と袖ヶ浦の工業団地と同様の整備手法が困難なことから、新たな整備手法の検討が課題となっています。

このため、産業用地の確保に向けた方策について、県内市町村の動向把握や、他自治体の民間を活用した取り組み事例の調査・分析などを行うとともに、外部有識者からも意見を伺ってききました。

今後は、県や市町村、民間との新たな役割分担による産業用地の確保について、市町村の意見も伺いながら、さらに検討を進め、本年度末までに一定の方向性を取りまとめたいと考えています。

実川議員 新たな産業用地を確保していく上で、県は具体的にどのような役割を担っていくのか。



一般質問に登壇した実川県議

圏央道見据えた支援要請

商工労働部長 新たな産業用地の確保に当たっては、事業の採算性を十分に確保することが重要であり、まずは、県として候補地における企業立地ニーズの把握・分析を行います。

その上で、円滑な事業実施に向けて、金融機関と連携した積極的な企業誘致や、道路、上下水道等の公共インフラ整備への支援について検討してまいります。

食肉センターの再編

実川議員 現在、食肉センターには、食品衛生法の改正により、3年以内に義務化されるハサブ(HACCP)に沿った衛生管理への対応や、施設の高齢化等の課題があります。

私の地元の横芝光町の町営東陽食肉センターは、建設から50年が経過しており、施設の修繕にかかる負担は年々増加していると聞いています。そこで伺います。食肉センターの再編に向けた進捗状況はどうか。

農林水産部長 県内5つの食肉センターによる再編への合意を踏まえて、県では平成28年5月に、千葉県食肉流通協議会を立ち上げ、現在、再編後の食肉センターの経営のあり方について検討しているところです。

でも検討してまいりたいと考えています。

要望

2024年の圏央道開通を見据えて、私の地元である横芝光町でも、インターチェンジ付近に新たな産業用地の整備に向け、検討を進めていくと聞いていますので、ぜひ、県からの積極的な支援をお願いしたいと思っております。

要望

これまでいくつかの条件に基づき、再編後の食肉センターの層舎規模や経営収支をシミュレーションするとともに、輸出やHACCPに対応した先進地への視察や研修会を実施してきました。

こうした取り組みにより、早期再編に対する各食肉センターの意識が高まってきたことから、今後は、先進事例の分析や、より具体的な経営シミュレーションを行うこととしており、県としても早期再編に向け支援してまいります。

要望 これを機会に取り組みを加速化させ、1日も早く食肉センターの再編が実現するよう、県としてさらなるリーダーシップを取っていただくよう要望します。

飯岡一宮線バイパス

実川議員 県道飯岡一宮線バイパスの屋形工区の進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道飯岡一宮線の横芝光町から九十九里町までの間は、幅員が狭く歩道もないことから、順次、バイパス整備を進めているところであります。

光町屋形において延長1.4キロの整備を進めています。

これまでに、都市計画道路路連沼海浜公園本須賀納屋線から屋形交差点までの0.4キロを供用しており、残る区間の用地取得については面積ベースで96%となっております。

今年度は、残る用地の取得を進めるとともに、またまった用地の確保ができた箇所から路線工事などを行っていくこととしています。

要望 バイパスは、全線がながってこそ本来の機能が発揮されるものと考えます。現在整備を進めている屋形工区は、平成35年度までの開通を目指すところでしたが、1日も早く供用していただくとともに、未整備



発言を求めて挙手する実川県議

児童虐待対応の見直し

実川議員 児童虐待について、子ども虐待対応マニュアルを見直す必要はないのか。

健康福祉部長 本年5月に児童虐待に係る死亡事例の検証報告が出されたことなども踏まえ、県では、児童虐待防止対策の一層の強化に向け、マニュアルの内容を全面的に見直し、今年度末を目途に改定作業を進めてまいりたいと考えています。

要望 虐待に十分対応できるようにするために、児童相談所の体制強化が必要と考えますので、職員の増員や専門職の配置、あるいは予算の確保などに取り組んでいただくよう要望します。

女性消防士の確保

実川議員 県内の女性消防士の状況はどうか。またその確保に向けて、どのように取り組んでいるのか。

防災危機管理部長 平成30年4月1日現在、県内の女性消防士の数は243名であり、消防士全体に占める割合は3%です。昨年度と比較して26名、率にして0.3ポイント増加している状況です。

女性消防士の確保は、住民サービスの向上や消防組

織強化の観点から重要であり、市町村では、更衣室や仮眠室の整備など、働きやすい環境づくりや、交替制勤務を行う部署へ配置するなど活動分野を拡大する取り組みを進めています。

県としても、このような市町村の取り組みを紹介する冊子を作成し、イベント等で配布するなど、消防は女性が活躍できる職場であることを周知するため、積極的なPRに努めているところです。